

特集 損保協会 100年のあゆみ

交通安全、防災、防災教育事業

【第16回】

本特集では、日本損害保険協会が創立100周年にあたり刊行した「日本損害保険協会百年史」をもとに、同協会の歩みを紹介している。第16回の今回は、同協会が実施している交通安全対策事業、防災事業および防災教育事業について、簡単に振り返る。

損害保険協会は、事故や災害の予防・防止に係る啓発・教育活動として、交通安全対策事業、防災事業および防災教育事業を実施している。本事業は、リスク啓発を通じた消費者意識の高揚、社会の安心・安全への貢献、災害、交通事故被害の軽減(財産、社会基盤、人命・人身)および損害保険業界・損害保険協会による社会貢献等を

1. 交通安全対策事業

(1) シートベルトの着用

道路交差法の改正により、運転席・助手席のシートベルト着用が義務化されたことを受けて、各国のシートベルト着用啓発に活用している。

(2) 飲酒運転の防止

飲酒運転の防止に備える保険などを解説した冊子「知っていますか? 自転車の事故(2007年)」のほか、知っている冊子「自転車の事故(2007年)」のほかに、交通安全に関する基礎知識と安全な運転方法についてまとめた冊子「小学生のための自転車安全教室(2009年)」を作成している。

2. 防災事業

(1) 全国統一防火標語・防火ポスターの作成

1965年度から消防庁との共催により毎年、防火標語を募集している。入選作品は全国統一防火標語として防火ポスターに掲載され、当該防火ポスターは官公庁、全国の自治体・消防署、各種業界団体等に配布され、好評を博している。

3. 防災教育事業

(1) ぼうさい探検隊の展開

阪神・淡路大震災(1995年1月)を契機に兵庫県西宮市で発足したNPO法人日本災害救援ボランティアネットワークは、子どもたちが楽しくみながら自分たちのまちを歩き、防災関係設備や施設を発見する過程で個々人の防災意識を高める「わがまち再発見ワークショップ」を始めた(1998年)。損害保険協会は、この取り組みのコンセプトに共感し、同ネットワークの協力を得て、千代田区内の小学校において、「わがまち再発見! ぼうさい探検隊」ワークショップを実施した(2003年10月)。

全国統一防火標語・応募数・防火ポスター作成部数・モデル(1985年度以降)

Table with columns: 年度, 全国統一防火標語, 応募数, 防火ポスター作成部数, 防火ポスターモデル. It lists data from 1985 to 2016.

交通安全対策事業 (2) 飲酒運転の防止... (3) 自転車事故防止... (4) 交通事故多発交差点の周知... (5) 高年齢者に対する交通安全の啓発... (6) 国連防災世界会議への参加... (7) 東日本大震災5年シンポジウムの開催... (8) 自治体・離島に対する消防自動車の寄贈... (9) 自然災害の防災減災に関する啓発... (10) 防災教育事業の展開... (11) 自治体・離島に対する消防自動車の寄贈... (12) 自然災害の防災減災に関する啓発... (13) 防災教育事業の展開...



損保協会作成の記念ロゴ

は累計で300万件を超えている。(5) 高年齢者に対する交通安全の啓発... (6) 国連防災世界会議への参加... (7) 東日本大震災5年シンポジウムの開催... (8) 自治体・離島に対する消防自動車の寄贈... (9) 自然災害の防災減災に関する啓発... (10) 防災教育事業の展開... (11) 自治体・離島に対する消防自動車の寄贈... (12) 自然災害の防災減災に関する啓発... (13) 防災教育事業の展開...

交通安全対策事業 (2) 飲酒運転の防止... (3) 自転車事故防止... (4) 交通事故多発交差点の周知... (5) 高年齢者に対する交通安全の啓発... (6) 国連防災世界会議への参加... (7) 東日本大震災5年シンポジウムの開催... (8) 自治体・離島に対する消防自動車の寄贈... (9) 自然災害の防災減災に関する啓発... (10) 防災教育事業の展開... (11) 自治体・離島に対する消防自動車の寄贈... (12) 自然災害の防災減災に関する啓発... (13) 防災教育事業の展開...

【文責】日本損害保険協会